

皮膚科専門医研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

皮膚はしなやかな鎧でかつ免疫臓器です。外界から攻撃する化学物質、微生物、紫外線などを塞ぎ止めるバリアであるばかりでなく、そうした攻撃に対し免疫反応を起こして対応しようとします。そうしたせめぎ合いの最前線で炎症性皮膚疾患は発生します。一方では刺激を受けやすい臓器であるからこそ、いろいろな腫瘍性皮膚疾患が発生します。また皮膚は肉眼で見えるという特殊性を持った臓器です。従って皮膚病の大半はすぐさま眼に飛び込んで来ます。このような特徴から、皮膚科には全科の中でも最も多様な疾患が存在します。そして、こうしたダイナミックな疾患の起こり立つ“現場”を目の当たりにするというのは、皮膚科という科の大きな特徴となっています。



皮膚科の研修プログラムは全県版です。それは、皮膚科では基本的に全県下の研修施設が同じ学会、医会、勉強会といった組織で後期臨床研修（専門医養成研修）、取得後教育を行っているからです。日本皮膚科学会の専門医資格では「研修基幹施設（大学病院）で1年以上勤務すること」が要件となっています。したがってプログラム期間中、少なくとも1年間は大学病院で研修を積みまます。これにより、大学ならではの難治・特殊症例についての臨床経験や、プレゼン・論文作成のトレーニングを集中的に積むことができます。またこの間に臨床研究・基礎研究に触れることも可能です。

静岡県には、浜松医大の派遣病院以外に、他大学からの派遣によって成り立っている基幹病院皮膚科もあります。西から、静岡市立清水病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、国際医療福祉大学熱海病院がそれにあたります。こうした病院とも連携を維持していることも付記いたします。

プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部附属病院 教授 本田哲也

2 目的

皮膚科は、皮膚という臓器に専門性を特化しています。この点は臓器別に分けられた他の診療科と同じではありませんが、皮膚科では、子供から老人まで、視診から病理診断まで、内科的から外科的治療まで行います。そのため、多様な患者さんを最初から最後まで責任をもって診ることができます。また、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹のような炎症性皮膚疾患から、白癬や蜂窩織炎という感染症、強皮症のような膠原病、水疱症のような自己免疫疾患、悪性黒色腫やリンパ腫といった悪性腫瘍、さらには美容皮膚科といった多岐にわたる疾患や治療手技を扱うことも特徴の一つです。

もう一つの大きな特徴として、将来の選択肢の広さが挙げられます。皆さんは医師として、昼夜問わず臨床に打ち込みたい、研究もやって病気を解明し新たな治療法を見出したい、留学をしたい、出産して子育てもしたい、開業したい、などいろいろな夢や希望があると思います。その点、皮膚科はさまざまなライフスタイルを選ぶことが可能です。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院皮膚科

(2) 専門研修連携施設

JA静岡厚生連遠州病院、聖隷三方原病院、浜松医療センター、聖隷浜松病院、磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター、島田市立総合医療センター、藤枝市立総合病院、静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院、静岡市立清水病院、富士宮市立病院、富士市立中央病院、沼津市立病院、静岡医療センター、杏林大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、東京女子医科大学病院、近畿大学病院、洛和会音羽病院、大阪府済生会野江病院、京都社会事業財団 京都桂病院、京都医療センター、田附興風会医学研究所北野病院、医療法人医仁会武田総合病院、大阪府済生会中津病院、十条武田リハビリテーション病院、高槻赤十字病院、大津赤十字病院、長浜赤十字病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、宇治武田病院、日本赤十字社和歌山医療センター、滋賀県立総合病院、JCHO星ヶ丘医療センター

4 専攻医受入数

11名

5 研修期間

5年間

6 研修計画（例）

コース	研修 1年目	研修 2年目	研修 3年目	研修 4年目	研修 5年目
a	基幹	連携	連携	連携	連携
b	基幹	基幹	連携	連携	連携
c	基幹	連携	連携	基幹	基幹
d	連携	連携	基幹	基幹	連携
e	連携	基幹	基幹	連携	連携
f	連携	連携	連携	連携	基幹
g	連携	連携	大学院 (研究)	大学院 (研究)	大学院 (臨床)
h	連携	大学院 (研究)	大学院 (研究)	大学院 (臨床)	大学院 (臨床)

7 問い合わせ先

浜松医科大学皮膚科

〒431-3192 浜松市中央区半田山 1-20-1

TEL 053-435-2303 FAX 053-435-2368

E-mail dermaweb@hama-med.ac.jp

8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

(1) 領域、プログラムリーダー

領域：皮膚科 プログラムリーダー：皮膚科学講座教授 本田 哲也

(2) キャリア形成プログラム受入見込み数

「4 専門医受入数」の内数 11名

(3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	5年	2年
県内病院	下記連携施設	勤務する医療機関については、医師少数区域、少数スポットでの勤務が4年間となるよう、調整します。

(4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方	沼津市立病院、静岡医療センター	
富 士	<u>富士市立中央病院</u> 、 <u>富士宮市立病院</u>	
静 岡	静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、 <u>静岡済生会総合病院</u>	
志太榛原	藤枝市立総合病院、島田市立総合医療センター	
中東遠	<u>磐田市立総合病院</u> 、 <u>中東遠総合医療センター</u>	
西 部	浜松医療センター、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、遠州病院	

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

(5) 取得できる資格

日本専門医機構認定皮膚科専門医

(6) 問い合わせ先

浜松医科大学皮膚科
〒431-3192 浜松市中央区半田山 1-20-1
TEL 053-435-2303 FAX 053-435-2368
E-mail dermaweb@hama-med.ac.jp